平成 30 年度早池峰地域保全対策事業推進協議会　議事録

１　日時

平成 31 年３月 11 日（月）　14 時～15 時 45 分

２　場所

岩手県盛岡地区合同庁舎８階講堂Ａ（岩手県盛岡市内丸 11 番１号）

３　出席者

【委員（敬称略）】

中村　浩之　　（一般社団法人岩手県山岳協会）
八重樫　隆　　（岩手県勤労者山岳連盟）
永田　京子（代理出席）（早池峰フォーラム実行委員会）
上平　玲子　　（早池峰の未来を考える女性の会）
有賀　義信　　（一般社団法人日本旅行業協会岩手県地区委員会）
菅原　和彦（会長）（岩手日報社）
野木　宏祐　　（岩手南部森林管理署遠野支署）
小野　義秀　　（三陸北部森林管理署）
荒巻　理恵　　（十和田八幡平国立公園管理事務所盛岡管理官事務所）
黒沼　寿夫（代理出席）（花巻市大迫総合支所地域振興課地域支援室）
佐藤　純　（代理出席）（遠野市環境整備部環境課）
阿部　正輝　　（宮古市川井総合事務所）
高橋　一志　　（岩手県環境生活部自然保護課）
富岡　治安（代理出席）（岩手県県土整備部道路環境課）
佐々木　浩信（代理出席）（岩手県警察本部生活安全部生活環境課）
藤原　寿之　　（県南広域振興局保健福祉環境部）
後藤　啓之　　（沿岸広域振興局保健福祉環境部宮古保健福祉環境センター）

【三陸北部森林管理署】

事務管理官　菊池　耕太

【岩手県環境生活部自然保護課】

自然公園担当課長　佐藤　高久
主任主査　千葉　隆一

【事務局員（県南広域振興局保健福祉環境部環境衛生課）】

技術主幹兼環境衛生課長　　三浦　史人
主任主査　　田老　真帆
技師　　白澤　彰

4　内　容

(1) 開会

県南広域振興局保健福祉環境部の三浦技術主幹兼環境衛生課長から、前会長の委員退任について報告があり、協議に先立ち会長の選出を行いました。事務局案が提出され、岩手日報社の菅原委員が会長に承認されました。

(2) 会長挨拶

早池峰地域は多くの皆さんに愛されるがゆえにオーバーユースになることもあり、また貴重な自然があるゆえに残念ながら心無い行為が見られることもあります。さらに最近は野生生物の生息環境が変わりまして、貴重な高山植物に与える影響や植生が変わる懸念が増してきているとの専門家からの指摘もあります。本日お集まりなった皆様方も様々な問題に取り組んでいらっしゃるということで、敬意を表します。

本日は報告を受けて、皆様から活発な意見交換を賜りますよう、よろしくお願いします。

(3) 議事

ア　協議会及び部会の設置要領の一部改正について

県南広域振興局保健福祉環境部の田老主任主査から説明があり、事務局案のとおり承認されました。岩手県山岳協会が一般社団法人岩手県山岳協会に変更されたことが報告され、委員名簿を追加改正することとしました。

イ　平成 30 年度早池峰地域保全対策事業実施結果

県南広域振興局保健福祉環境部の田老主任主査から説明がありました。

【概要】

・　平成 30 年 6 月 10 日（日）～平成 30 年 8 月 5 日（日)までの土日祝日計 18 日間、関係行政機関とボランティアとの協働により、早池峰クリーン＆グリーンキャンペーンを実施し、携帯トイレ普及啓発活動、車両交通規制の周知、登山道巡回による登山者の安全確保及び盗掘監視等を行ったことが報告されました。

・　携帯トイレの販売及び携帯トイレ無人販売箱の設置等、携帯トイレ普及促進に取り組み、仮設トイレ等の設置により登山者に登山前のトイレ使用を呼びかけたことが報告されました。

・　高山植物盗採防止合同パトロール及び早池峰地域登山道合同パトロールを実施した結果、高山植物の盗採跡は確認されませんでしたが、１合目付近までの樹林帯で、シカによる高山植物の食痕が認められたことが報告されました。

また移入植物駆除が実施され、オオハンゴンソウについてはこれまでの駆除作業の効果が見られ、県道 25 号紫波江繋線沿道にはほとんど生息が確認されなかったとの報告がありました。

【質疑応答】

○菅原会長（岩手日報社）

説明をいただきましたが、御質問や御意見はありますでしょうか。

○野木委員（岩手南部森林管理署遠野支署）

いろいろと活動があって、毎回反省会を開催していただいていますが、人は、その時によって違ったりもしますけれど、年間を通してなるだけ情報共有とか意見を言える場とかを確保して欲しいと思います。前回のパトロールの時こういう意見が出ましたといったような情報共有とか、せっかく集まったことを有効に活用していただければと思います。協議会は、年に 1 回とか 2 回ですが、反省会などの場を有効に活用することで、もう少し課題への対処ですとか問題への対応ができると思いますので、御検討をよろしくお願いします。

○田老主任主査（県南広域振興局保健福祉環境部）

パトロール等を行った後に情報交換会を行っていますが、そちらで出された内容について、これまでは協議会や部会の皆様にお知らせすることはなかったので、協議内容について関係する皆様に情報提供できるように検討いたします。

ウ　部会報告

①　早池峰地域自動車利用適正化部会

県南広域振興局保健福祉環境部の田老主任主査から説明がありました。

【概要】

・　主要地方道紫波江繋線の交通規制と早池峰登山シャトルバスの運行状況について、報告がありました。

・　交通規制時による問題等の発生状況として、小田越登山口付近の沿道に車両の路上駐車が複数台あることが報告され、協議の結果、今後の対策として、自動車部会関係者等により現地調査を行い、円滑な道路交通の確保に向けて、駐車不可能となるようロープや注意表示板を設置する等の物理的な対策を取り、ホームページや掲示等によりマナー啓発に努めることが報告されました。

②　山頂避難小屋あり方検討部会

岩手県環境生活部環境生活部自然保護課の千葉主任主査から説明がありました。

【概要】

・　部会決定に基づき、引き続き完全携帯トイレ化ということで、通年で、携帯トイレの普及啓発及びマナー向上に取り組み、山頂避難小屋及び登山道に携帯トイレブースを設置したことや携帯トイレ回収箱を岳駐車場他３箇所に設置したことが報告されました。

・　携帯トイレの所持率アンケート調査結果では所持率が 75.2%と多くの登山者が携帯トイレを所持していることが報告されました。

・　携帯トイレの販売体制について、携帯トイレ’サポート早池峰から見直してもらいたいとの意見が出ましたが、協議会の関係部局と相談しながら早急に検討していかなければならない課題として認識している旨の報告がありました。

③　シカ対策部会

岩手県環境生活部環境生活部自然保護課の千葉主任主査から説明がありました。

【概要】

・　早池峰シカ監視員の自動撮影カメラ調査結果として、撮影頻度が昨年と比較して増えている地点があることが報告されました。また県道紫波江繋線の岳から小田越峠間で明確なシカ道を数カ所確認したことや河原の坊コースの登山道を外れるとシカの痕跡が多いこと、越冬地にシカが移動する際には、県道に沿って内川目方面に移動していると推察されること等、様々なシカの動向が見えてきており、これらの情報を猟友会や関係者に提供し、効果的な捕獲等に活かしたい旨の報告がありました。

・　先進地視察などから得た情報を基に検討し、平成 30 年 8 月 27 日に防鹿柵を設置したことが報告されました。表土が薄く岩場が多い地質の早池峰山において、設置方法と耐久性が第一の課題であったが、設置については、土中に 50ｃｍ程度の支柱杭を打ち込むことにより、1.8m高の支柱を４ｍおきに立てることができたこと、耐久性についても問題ないと考えられることが報告されました。

・　岩手県立博物館鈴木学芸員のシカ食痕調査・痕跡調査等の報告があり、小田越登山道の四合目東側に比較的大きな草原があり、非常に高密度なシカの糞や多くの草本に食痕が認められたことが報告された。また河原坊登山道防鹿柵周辺のモニタリング調査では、今年度は設置の時期が遅かったため、植生の回復は観察されなかったが、植物の成長期間（雪解けから７月）に柵を設置することで、明確な植生保護効果が観察できるとの報告があり、来年度は雪解け後すぐに設置を進めていきたと考えているとの報告がありました。

①～③について、質疑応答が行われました。

【質疑応答】

○菅原会長（岩手日報社編集局報道部）

３つの部会から報告をいただきましたが、御質問や御意見はありますでしょうか。

○上平委員（早池峰の未来を考える女性の会）

駐車場についてのアンケートを取ったと聞いているが、その内容はどのようなものだったか教えてもらいたい。

また 12 月の山頂避難小屋あり方部会の時にもお話ししましたが、携帯トイレ’サポート早池峰が現在、すべて携帯トイレの販売管理をしているわけですが、人数的にも週１回の売上金の回収等、管理をすることがなかなかたいへんであり、しかも昨年は販売ボックスが壊されてお金が盗まれるということが３回あり、現にその対応も求められているわけです。このようなことから携帯トイレの販売管理はサポートだけでは厳しいので、県の方でも何らかの支援を検討して欲しいということがでたと思います。

それに対して県の方でも今日の全体会議までに話し合い、意見交換をしましょうという話になったと思ったんですが、どうなったのでしょうか？

○田老主任主査（県南広域振興局保健福祉環境部）

路上駐車のアンケートですが、県南局では実施しておりません。小田越の自然管理員

が直接登山客から苦情を受けたということで、とくにアンケートを実施して得られたものではございません。

○千葉主任主査（岩手県環境生活部環境生活部自然保護課）

意見交換ですが、時期を逸してしまい、開催することが出来ませんでした。申し訳ありませんでした。携帯トイレの販売の場所も含めて、どのような体制で行うかについては少し検討させて欲しいと思います。１月に県南局で開催した早池峰の関係者の方と意見交換していろいろなアイディア等お聞きしましたが、そのような機会を活用して、携帯トイレ’サポート早池峰の意見も確認しながら、より良い形で進めていければと考えております。一度お邪魔して整理すればよかったのですが、なかなかすぐに代替案が見つからず失礼いたしました。引き続き検討させていただきながら、知恵を出し合いながらより良い方向になっていければと思っております。

資料の 54 ページ（2）の①にもまとめてございますが、我々もこの問題は重要と思って認識しておりますので、販売及び管理は、「携帯トイレ’サポート早池峰」と協議会関係者で調整を行っていくこととします。なお、今年度に売上金の盗難事件が発生したことから、販売箱の設置場所等についても検討を行っていきます。また今後の将来的な方向性になると思いますけれども、登山者が事前に携帯トイレを購入し、持参するように普及啓発を行うほか、近隣の店舗等に携帯トイレを販売できるよう働きかけを行っていきたいと思います。

来年度からすぐという形にはなりませんけれども、引き続き携帯トイレサポートからはお世話になりながら、将来的な部分はあらためて一緒に相談させていただければと考えております。よろしくお願いします。

○野木委員（岩手南部森林管理署遠野支署）

路上駐車について、現地調査を実施するということですが、いつ頃を予定されていますでしょうか。

○田老主任主査（県南広域振興局保健福祉環境部）

山開きの前で道路が開通した後ですから、だいたい５月中旬頃でしょうか。

○佐藤自然公園担当課長（岩手県環境生活部環境生活部自然保護課）

県道の冬期通行止めの解除が今の予定ではゴールデンウイーク明けの予定のようです。ゲートが開いたところからなるべく早めに現地を合同で確認していただいて、どういったもので物理的に止められない方策がとれるかといったところを確認して、山開きまでには対応できればと考えております。

○野木委員（岩手南部森林管理署遠野支署）

自然保護課と森林管理署はその頃に防鹿柵の件でも行きますので、その時に下見してあたりを付けた上で土木センターも交えて設置するということになるんですかね。

○佐藤自然公園担当課長（岩手県環境生活部環境生活部自然保護課）

雪の状況もあるのですが、場合によっては土木センターと相談してゲートが開く前に入ることが可能であれば、そのへんについても調整をかけていきたいと思っています。

○菅原委員（岩手日報社）

素朴な疑問なのですが、20ページの交通規制時の問題のところで、荒川分岐の市道から交通規制時間帯に規制区間に迷い込んでくる車両があったということですが、これは本来どうすれば良いものなのですか。警察の強制力はともなわないものなのですか。

○田老主任主査（県南広域振興局保健福祉環境部）

誤って入ってきた車両については一刻も早く外に出てもらうことしかないかと思います。警察に通報することも考えられますが、遠隔地ということで通報してもなかなか対応が難しいです。

エ　2019年度早池峰地域保全対策事業実施計画

県南広域振興局保健福祉環境部の田老主任主査及び岩手県環境生活部環境生活部自然保護課の千葉主任主査から説明がありました。

【概要】

・　2019年度も引き続き、早池峰クリーン＆グリーンキャンペーン等の取組を実施し、早池峰地域対策に万全を期していく旨の説明がありました。
・　自動車利用適正化対策に係る事業は、早池峰国定公園地域協議会が中心となって実施しているが、来年度のシャトルバス運行体制については現在のところ未定であり、バス事業者数社での共同運行になる予定である旨説明がありました。
・　小田越登山口付近の路上駐車対策については、現地調査を行い自動車部会として合意形成を図りつつ、円滑な道路交通の確保に向けて物理的な対策等を取り、引き続きホームページや掲示等により周知していくとの説明がありました。
・　現在の携帯トイレの販売体制については、再度携帯トイレ’サポート早池峰に相談して、より良い形で進めていきたいとの説明がありました。
・　シカ柵については雪解け後すぐに設置することで期間を延長し、さらに設置箇所も拡大すること、設置場所については東北森林管理局と調整を行っていくとの説明がありました。新たに部会委員に加わっていただき、より広く集まって連携しながらシカ対策を取っていきたいとの説明がありました。

【質疑応答】

○菅原会長（岩手日報社編集局報道部）

御質問や御意見はありますでしょうか。

○望月委員代理永田様（早池峰フォーラム実行委員会）

シカ部会に新しく委員が加わるということで、非常に有効な意見が出るかと思いますので期待しております。

○高橋委員（岩手県環境生活部自然保護課）

シカ対策部会ではこれまで直接捕獲等を行っていましたけれども、県全体で増加してきていると早池峰だけの問題ではないということで、県の方で猟友会に捕獲の委託をしておりまして、農水の方と一緒に被害のあった時の捕獲と併せて年1万頭以上は捕獲をしましょうということで、毎年進めております。早池峰山周辺では2500頭ほど捕獲を実施しました。昨年度はちょっと雪が多かったということで、獲りやすい条件ではありませんでしたけれども、引き続き捕獲の方を進めていくという考え方で猟友会と話して

おります。

森林総研については、シカ対策部会にはこれまでシカの専門家がおりませんでしたので、そういう方を入れて話をしていった方がよろしいだろうと意見があってお願いしました。森林管理局については捕獲と保護、両方からシカ対策を進めなければならないということから、これまで各森林管理署からは現地調査にも同行していただいてきましたが、森林管理局も加えて、３者あるいは４者でやっていくことが必要だということで加わっていただくことになりました。環境省の方についても全般的なご指導を受けながら連携をとっていきたいと考えております。

シカ対策については今年度の議会の方でも注目をいただいておりまして、早池峰の希少種の被害についてはシカ部会の方でも力を入れてやっていきたいと考えております。

また先程のトイレサポートの件ですが、たいへん申し訳ありませんでした。いずれサポートだけに任せるということではなく、協議会の中で協力できることを具体的にお聞きして、皆さんでそれを実現していくということをしないと携帯トイレというのはもたないと思っておりますので、今後皆様方にもお願いをするというような場面があるかもしませんが、その際はご協力をいただけますようあらためてお願いを申し上げます。

〇望月委員代理永田様（早池峰フォーラム実行委員会）

意欲は感じましたので、期待しています。早池峰周辺のシカが問題化してきたのは、約 10 年近く前になります。今年度設置した防鹿柵を次年度延長していくということでしたが、本格的にやっていかないとシカの被害というのはなだらかに増えていくものではなく、ある時点まで来ると爆発的に増えるものだと言われています。早池峰の高山植物に被害が出ているのはもう分かっていますので、今までのような調子で進めていくのではなくて、少し本格的な取り組み方をしていかないと、実際被害を免れることが難しいと思われます。今後のことを考えると、次年度は良いチャンスであると考えられますので、予算面もあるかとは思いますが、これまでの続きではなく、がんばっていただきたいと思います。

〇高橋委員（岩手県環境生活部自然保護課）

承りました。

〇上平委員（早池峰の未来を考える女性の会）

携帯トイレサポートのことについて、自然保護課からお話しいただきましたが、サポートから直接話を聞くということがなかったと思うのです。グリーンボランティアの会から話を聞く機会があったから、という話もありましたが、それは早池峰ボランティアの会の意見で、サポートの意見ではないので、ぜひ直接話を聞く機会を設けていただきたいということです。

またそれに関して、例えばホームページで携帯トイレを持ち帰るように啓発しますとか、その場で買えなくても大迫地区で購入できるようにしますとか、ありましたけれども非常に良いことで異論はありません。しかし実際にそれが実現するまでには何年もかかることです。まず今実際に販売管理しているところをうまく回していく方も検討して欲しいと思います。

○高橋委員（岩手県環境生活部自然保護課）
　意見交換については、早急にやらせていただきたいと思います。山開きの前にきちんと方向性を出していけるようにしたいと思います。
○上平委員（早池峰の未来を考える女性の会）
　広報とかホームページとかそういうのは分かるんですけど、早池峰だけでこういうことしていても、なかなか携帯トイレを持ちましょうとかそういうことが広まらない原因になっていると思います。北海道のように全道をあげて取り組むような感じにしないと、例えば山岳関係者などにどこへ行くにも携帯トイレを持っていくようにしてくださいとか呼び掛けていくようにしないと、なかなかそれを見て登山に来るという人もいないと思うので、もっと幅広く取組をお願いしたいというか、そういう風にしていきたいものだなと思います。
○八重樫委員（岩手県勤労者山岳連盟）
　移入植物駆除の件ですが、平日に行われているようなんですが、土日とかに開催する予定はないんですか。私なんかも平日だと行きにくいので、土日だと行けるかなと思うのですが。
○田老主任主査（県南広域振興局保健福祉環境部）
　平日はこの２日間なのですが、キャンペーン期間内については土曜日曜祝日にボランティアの方々をはじめ協議会関係者で移入植物駆除活動を行っていますので、そちらの方に参加していただければと思います。
○菅原会長（岩手日報社編集局報道部）
　それでは様々なご意見が出たと思いますので、次年度の参考にしていただければと思います。

オ　その他
・　早池峰地域保全対策関係功労者表彰について
　協議会委員から推薦があった候補者について、県南広域振興局保健福祉環境部の田老主任主査から説明があり、審査の結果、表彰者１人が決定しました。

【質疑応答】
○野木委員（岩手南部森林管理署遠野支署）
　県南広域振興局保健福祉環境部からの推薦に併せて、功績調書は間に合わなかったのですが、毎年、岳の早池峰神社の神楽団体が山開きの時に安全祈願と舞の奉納をやってくださっているのですが、たまには環境系だけではなくて、文化の側面からも表彰というのがあってもいいのではないかと思います。両神社と神楽の担い手団体を推薦したいと思っていますので、これも併せてご検討いただければと思います。遠野市と花巻市からも、それぞれ御推薦いただければいいのかなと思います。
○菅原会長（岩手日報社編集局報道部）
　功績調書がなくてもこの場で決めてしまってもいいのでしょうか。

○田老主任主査（県南広域振興局保健福祉環境部）
　委員の皆様で協議していただいて、御承認いただければよろしいかと思います。
○菅原会長（岩手日報社編集局報道部）
　功績調書のようなものがあれば、協議する際にも委員の皆さんで共通認識が得られるかとは思いますが、突然固有名詞を出されてもなかなか難しいかと思います。
○野木委員（岩手南部森林管理署遠野支署）
　あらためて整理して、紙でお出ししてもいいかと思っています。
○菅原会長（岩手日報社編集局報道部）
　どうしても今年やらなければならないのであれば、そのようにやることも検討しなければならないかもしれませんが、来年度でも良いのであれば、あらためて整理して功績調書をお出しいただいて、協議するということではどうでしょうか。表彰というのはスタイルというのが一応必要だと思いますので。形が整ったうえで審査した方が、皆さんも納得感が得られるかと思います。
○野木委員（岩手南部森林管理署遠野支署）
　こだわるものではなく、事前に打ち合わせた上で提案しようと思ったのですが、なかなか事務局と連絡を取ることが出来なかったので、本日の午前中に事務局と御相談した上で、私から提案させていただいたものです。功労者をこの場で決定しなければならないのであれば、どうしても今年にというものではないです。
○田老主任主査（県南広域振興局保健福祉環境部）
　協議会は通常、年に１回しか開催されないものなので、花巻市や遠野市と話し合って功績調書を作成していただけるのであれば、来年度の協議会に提出していただいて協議するというのが良いかと思いますがいかがでしょうか。
○上平委員（早池峰の未来を考える女性の会）
　早池峰地域保全対策事業推進協議会というものの趣旨、自然環境の保護と適正利用ということを考えて推薦をして欲しいと思います。これまでどのような経緯で推進してきたものなのか、簡単に来年度推薦すれば良いものだとは考えないで、そのへんのところを考えてもらいたいと思います。
○野木委員（岩手南部森林管理署遠野支署）
　問題があるとすれば、おそらく環境保全に資する取組なのかどうかというところだと思います。
○上平委員（早池峰の未来を考える女性の会）
　実際にその活動をしている人が該当すると思います。
○小野委員（三陸北部森林管理署）
　その点も含めて、来年度あらためて資料を作成して、事務局に出して、その中で該当すべき事項なのか協議していただいたうえで、協議会に提案してもらい、委員で検討するべきではないでしょうか。
○菅原会長（岩手日報社編集局報道部）
　手続きとかを経たうえで、皆さんに納得いただいて承認した方が良いかと思います。

よろしいでしょうか。

〇野木委員（岩手南部森林管理署遠野支署）

分かりました。

〇望月委員代理永田様（早池峰フォーラム実行委員会）

質問ですが、35 ページにシカの防鹿柵を設置するとあるのですが、去年みたいに岩手県が設置するのと、森林管理署が設置するのと別個にやるのでしょうか。話し合いはあるのでしょうが、作業とか資材は別個にやっていくのでしょうか。

〇高橋委員（岩手県環境生活部自然保護課）

昨年度は一緒に現地調査して、我々はここにやります、ぶつかりませんね、といって設置場所について調整したという形でしたが、今年はまずどこにやったら良いのかというのを専門家も入れて決めていただいて、そこをどう分けたら良いかというところを調整していければと思っています。資材については分けられたところを自分たちの予算の中でやるわけですけれども方法とかについては今年の反省を生かしながら改善すべきところがあればお互いに改善していくということで進めていきたいと思います。今現在雪の中にありまして、例えば春に見たときに全部倒れてしまっていたとしたら、やはりやり方を変えなければいけないこともありますし、結果を見たうえで改善を進めていきたいと考えています。

(4)　閉　会